

「2026 年ネパール洪水・土石流災害に関する速報会」を開催しました（2026/10/5）

テーマ：ネパール洪水・土石流災害、速報会

会場：オンライン（Zoom ミーティング）および YouTube Live 同時配信

URL：https://irides.tohoku.ac.jp/event/event_jn/detail---id-6345.html

2026 年 10 月 5 日、「2026 年ネパール洪水・土石流災害に関する速報会」を開催しました。災害科学国際研究所では、8 月 26 日にネパールと中国の国境付近で発生した大規模な洪水・土石流災害に関し、永見光三特任教授（災害リスクガバナンス研究分野）による現地調査をはじめとして情報収集と解析に取り組んでまいりました。

速報会の冒頭では、所長の越村俊一教授（災害ジオインフォマティクス研究分野）が被災されたみなさまへお見舞いの言葉を述べるとともに、「あらゆる知見を結集してみなさまに共有し、今後の防災・減災対策の足がかりとなることを願います」と挨拶しました。続いて、永見特任教授とトリブバン大学（ネパール）のハリラム パラジュリ准教授、京都大学防災研究所の竹林洋史特定教授が現地調査の報告を行いました。

【プログラム】 司会：森口 周二 教授（計算安全工学研究分野）

開会挨拶 越村 俊一 所長（災害ジオインフォマティクス研究分野 教授）

1. 「Rasuwa-Bhotekoshi Flood 2026」

永見 光三 特任教授（災害リスクガバナンス研究分野）

2. 「Economic Impact of the Bhote Koshi Flood, Nepal, 2026」

ハリラム パラジュリ 准教授（トリブバン大学）

3. 「2026 年 8 月にネパール・Trishuli 川流域で発生した土石流災害」

竹林 洋史 特定教授（京都大学防災研究所）

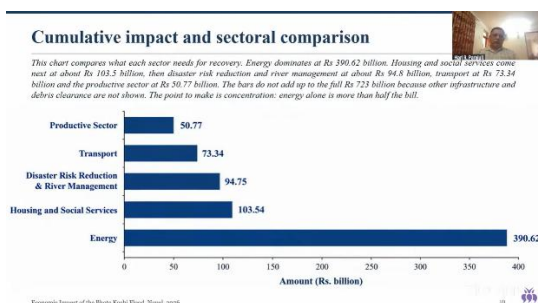
今回の速報会には、Zoom ミーティングおよび YouTube Live の同時配信を通じて、延べ 160 名の方々にご参加いただきました。当研究所では、今後も多角的な情報収集と解析を進め、被災地の復旧・復興支援や防災力強化に全力で取り組んでまいります。



挨拶を述べる越村所長



永見特任教授の発表



パラジュリ准教授の発表



竹林特定教授の発表

文責：佐藤 正則（広報室）